

校長雑感 ～年度末にあたって～

本校の第78回卒業証書授与式は、3月14日(金)に多くのご来賓と保護者の皆様に見守られる中、卒業生の有終の美を飾るにふさわしい、厳粛かつ感動的な式となりました。式後の最後の教室では、一人ひとりが中学校生活の思い出や仲間への思いを語り、伝え合うことができました。卒業生を送る花道では、1・2年生から卒業生に「今までありがとう!」の言葉がかけられ、その中を卒業生は笑顔で巣立っていきました。生徒はお互いに、感謝の心でこの日を締めくくることができました。

感謝の心を伝える場面は、卒業式の前日の「3年生を送る会」にもありました。3年生を送る会の形は、学校によって様々です。西栗倉中学校では、各学年に10分程度の時間が割り振られ、内容はそれぞれの学年で考え実施するというものです。学校生活にかかわるクイズを出題してくれた1年生。学年を超えたグループで頭をひねりながら協力して答えを導き出していました。学年を越えたグループに分かれ、出題されたテーマを絵や言葉を使って伝える伝言ゲームを考えた2年生。正しく伝えるために、各グループで心を一つにしようとする様子が見られました。送られる側の3年生も、クイズを準備してくれ、学年を越えたグループで得点を競い合いました。最後まで学年を越えて、全校で楽しい時間を過ごすことができることは、西栗倉中学校の良さだと感じることができました。そして、この会に向けて準備や練習した時間の中に、卒業生や在校生のことを互いに思い合う心があったことと思います。卒業生にとって、間違いなく中学校生活の思い出のひとつになったことでしょう。

さて、本日令和6年度の修了式を行い、今年度の学校での生活は終了となります。3学期の学校生活の様子から、2年生は最上級生となる、1年生は先輩となる自覚の高まりを感じることができました。来年度、最上級生となる2年生の皆さんには、学校の顔としての活躍が期待されています。そして、自分自身の進路を決める大事な一年になります。また、中学生活に慣れ、成長している1年生の皆さん、来年度は上級生となり、いよいよ先輩としての自覚が大切な一年になります。後輩のよき手本となる行動が期待されています。この一年間の学びや生活を振り返り新たな目標を立て、一つでも改善・向上の努力をして新年度に備えてください。4月7日の新年度始業式で、新たな決意をもった皆さんの姿を楽しみにしています。

保護者の皆様、地域の皆様には、この一年間、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今後とも、ご家庭や地域の皆様との連携のもと、本校の一層の教育活動の充実に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。明日から春休みになりますが、何かご心配な事や困った事がありましたら、学校までご連絡ください。

ミニ演奏会 3月4日

3年生最後の音楽の授業で、ユーフォニウムとバイオリンのコラボ演奏会をしました。



調理実習 3月11日

地域の方を講師にお迎えし、2年生が地域の食材を使った「ごんだら煮」を作りました。



3年生を送る会 3月13日



卒業式 3月14日

